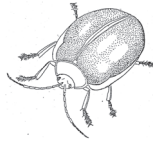


たんぽう



兵庫県養父市丹戸でフタスジフユシャクを採集

高橋輝男

2020年12月5日に兵庫県養父市丹戸(標高約1,050m)でライトトラップを行ったところ, 開始早々の17時46分にフタスジフユシャク *Inurois asahinai* Inoue, 1974一頭が飛来した. 開張は約24mmである (Fig.1).

本種はいわゆる山地性高山蛾であり, 関東地方以西では山地に産し, その発生時期は11月中旬~12月中旬とされている(井上ら, 1982). 同属のウスバフユシャクと混同されていたが1974年に新種として記載された.

本県における本種の記録は見当たらず, 初記録と思われる.

【採集記録】兵庫県養父市丹戸(鉢伏高原), 5. XII. 2020. 1ex.

○参考文献

井上寛・杉次郎・黒子浩・森内茂・川辺湛・大和田守, 1982. 日本産蛾類大図鑑, 講談社.

2022年12月04日レシーブ
(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)



Fig.1 兵庫県養父市産フタスジフユシャク (開張約24mm)

稲美町で撮影されたカバマダラ

宮下直也

姫路科学館では, 姫路及び近郊の生物の分布情報を広く集めるため, 播磨圏域連携中枢都市圏8市8町(姫路市, 相生市, 加古川市, 赤穂市, 高砂市, 加西市, 宍粟市, たつの市, 稲美町, 播磨町, 市川町, 福崎町, 神河町, 太子町, 上郡町, 佐用町)で撮影された野生生物の写真を公募し展示する, 生物多様性写真展「ひめじのいきもの」を2017年度以降の毎年度開催している(姫路科学館, 2023).

第6回となる2022年度に開催した同写真展において, カバマダラ *Danaus chrysippus chrysippus* (Linnaeus, 1758)の写真が投稿されたので報告する(写真1). 本種は日本では南西諸島南部にのみ分布していたが, 近年は九州南部に定着しつつある(日本チョウ類保全協会編, 2019). 兵庫県では迷蝶として知られている(広畑・近藤, 2007).



写真1. カバマダラ.
兵庫県加古郡稲美町加古(加古大池), 31 X 2022, 鹿籠六眞氏撮影.

貴重な写真を投稿していただいた鹿籠六眞氏と, 報告を勧めていただいた広畑政巳氏に厚く御礼申し上げます.

○引用文献

日本チョウ類保全協会(編), 2019. 増補改訂版 日本のチョウ. 誠文堂新光社, 東京. 344pp.
姫路科学館, 2023. 企画展「生物多様性写真展 ひめじのいきもの」, <https://www.city.himeji.lg.jp/atom/research/nature/photo/index.html> (参照2023年9月3日).
広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶. 岩峰社, 東京. p. 305.

(Naoya MIYASHITA 姫路科学館)